

第18回使用済製品等のリユース促進事業研究会

日本国内のチャリティーショップ 運営団体のネットワーク構築事業

1. 中部リサイクル運動市民の会のリユース活動について
2. チャリティーショップの特徴と課題
3. ネットワークの構築へのステップ
4. ネットワークの目的と活動内容
5. 本モデル事業の内容

2015年12月16日(水)

NPO法人中部リサイクル運動市民の会

事務局次長 庄司里美

中部リサイクル運動市民の会 リユース&リサイクル活動の紹介

- ・設立1980年(2010年よりリユース本格始動)
- ・スタッフ17名(正4名)・ボランティア約100名



リユース&リサイクルステーション(45ヶ所)



- ・エコロジーセンターRe☆創庫(3ヶ所)
- ・Re☆ショップ(1ヶ所)

エコロジーセンターRe☆創庫



販売点数	149,014点
資源回収	602トン
販売金額	25,505千円

(3ヶ所計)

Re☆ショップ



Re☆創庫・Re☆ショップの利益の活用先

- リユースの拠点運営費
- 小学校での出前授業
- チャリティーボックスの設置
- 障がい者の就労支援



チャリティーショップに共通する特徴

- ①市民から不用品を「寄付」で受けつけている
- ②ボランティアがショップを支えている
- ③利益を社会のために活用している



チャリティーショップに共通する課題

- ①社会的認知度が低く、参加者がなかなか広がらない
- ②財政的基盤の脆弱さ、人材育成
- ③団体同士のつながりが薄く、互いのノウハウが蓄積・活用されていない



チャリティーショップがネットワークを作り
運営力を強化することが必要

ネットワーク構築へのステップ

①2013年度

●共通の紹介冊子作成

(全国2,000の非営利団体に配布)

●第1回のフォーラムを開催(参加延べ168名)

●情報交換のためのML開設



ネットワーク構築へのステップ

②2014年度

- ショップの現場見学会の開催(2回)
- ネットワーク会議の開催(3回)
- 第2回のフォーラムを開催
(テーマ:英国Oxfamの先進事例)



ネットワーク構築へのステップ

③2015年度

- 英国チャリティーショップ大会の視察
- ネットワーク会議の開催(3回)
- ネットワークの設立(2015年12月予定)
- 記念フォーラムの開催(2016年1月予定)



ネットワーク構築に参加してきた チャリティーショップ運営団体 (50音順)

名称	地域	店舗数
(特定)WE21ジャパン	神奈川	55
(特定)エコメッセ	東京	14
(特定)オックスファム・ジャパン	東京	2
(特定)神戸青少年支援協会	兵庫	1
(特定)ザ・ピープル	福島	1
(公社)セカンドハンド	高松	3
(特定)中部リサイクル運動市民の会	愛知	4
(特定)日本ファイバーリサイクル連帯協議会	千葉	2
(特定)フリーヘルプ	兵庫	2

日本チャリティーショップ・ネットワーク

● 目的 ●

(会則案より)

広く一般市民及び事業者に対して
チャリティーショップの認知度を高め、
非営利活動への寄付・助け合い・市
民主体・**リユースの推進**などを促す
「チャリティーショップの文化」を創ること
で、市民社会の構築に寄与すること。

日本チャリティーショップ・ネットワーク

●活動内容● (会則案より)

- (1) チャリティーショップの認知度を高める活動 (広報、WEB運営)
- (2) チャリティーショップの社会的基盤を整える活動 (調査・提言、関係機関との連携)
- (3) チャリティーショップの運営力を強化する活動 (情報交換、共同研修)
- (4) チャリティーショップを増やし、社会的課題解決を支援する活動(立ち上げ支援)

本モデル事業の内容

1. チャリティーショップについての調査

- ー環境保全上の効果(リユースの数量等)
- ー事業の持続性(採算性等)
- ー環境保全以外の多面的効果
(社会貢献、福祉、地域など)

2. 調査結果の集約と報告

本モデル事業のスケジュール

2015年

11月: ・調査項目案の作成

12月: ・ネットワークメンバーとの調査項目検討
・調査開始

2016年

1月: ・調査結果集計及びフォーラムでの共有

2月: ・報告書作成 以上